浅間山

可児市立東可児中学校
令和７年5月２０日発行

笑顔の"もと"

諦めたらそこで試合終了ですよ

校長　堀田　誠

先日、体育大会が開催されました。開会式では、生徒に最後まで頑張ってほしいと願い、「諦めたらそこで試合終了ですよ」という言葉を引用しました。これは、大好きな漫画である「スラムダンク」に登場する安西先生の名言です。スラムダンクは、主人公の桜木花道が高校に入学した時、一目ぼれした赤木晴子に誘われ、バスケット部に入部した話から始まります。たった半年の出来事ですが、その中に数々のドラマがあり、感動の連続です。スラムダンクに登場する人物に三井寿がいます。彼は、中学時代はスタープレーヤーでした。湘北高校を全国へ連れていくと意気揚々と入学します。しかし、ある日、膝を故障したことがきっかけで、バスケができない自分に対して投げやりになってしまいました。そして、バスケを憎むようになりました。ある日、三井寿が熱心に練習している湘北高校の体育館へやってきます。目的はバスケ部を潰すことでした。しかし、これは彼の本心ではなかったのです。なぜなら本当はバスケットが大好きだったのです。中学時代のある大会で、試合時間残り数秒で負けていた時に、コートから出そうになったボールを取ろうと飛び込みました。しかし、ボールを取ることはできず、相手のボールとなりました。時間を考えると、逆転は不可能です。諦めようとしていた時に、安西先生が転がったボールを手に取り、三井寿に「諦めたらそこで試合終了ですよ」と励ましました。その言葉で奮起し、そして逆転へと繋がりました。そんな恩師のもとで頑張りたいと願い、湘北高校に入学したのです。体育館に乱入し、血みどろの乱闘になっている時に、三井寿の恩師である安西先生が体育館にやってきます。三井寿は安西先生と出会うと「バスケがしたいです」と涙ながらに自分の本心を打ち明けるのです…。

体育館横の菖蒲がきれいです

さて、東可児中の体育大会において、素晴らしいワンシーンがありました。３年生の学級対抗リレーです。青団の一つのチームが、他のクラスより周回遅れでした。最終ランナーがバトンを受け取ったときに、他のクラスはすでにゴールを終えていました。アンカーが走り出すと、至る所から「頑張れ！」という声があがりました。その声は、ゴールするまで続きました。青団だけでなく、他クラスの黄団や赤団からもです。青団の選手も最後まで全力疾走です。ゴールの瞬間、大きな拍手が起こりました。何とも言えない温かさと爽やかさがありました。こんな雰囲気を創り出すことができる東可児中の生徒の素晴らしさを本当に感じました。諦めず最後まで頑張る姿やそれを称賛できる心が素敵でした。

年を取ると涙もろくなる…。もう一度スラムダンクを読み返したくなりました。